



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社レダックス 上場取引所 東  
 コード番号 7602 URL <https://www.ledax.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 長倉 統己  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室課長 (氏名) 高橋 英知 TEL 03-3239-3185  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	19,846	△0.9	△117	—	△97	—	170	—
2025年3月期	20,034	5.0	△199	—	△143	—	△187	—

(注) 包括利益 2026年3月期 186百万円 (—%) 2025年3月期 △155百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	8.21	—	3.6	△1.4	△0.6
2025年3月期	△9.04	—	△4.0	△2.0	△1.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △21百万円 2025年3月期 △0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	7,125	5,044	67.1	230.65
2025年3月期	7,072	4,858	65.2	222.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,781百万円 2025年3月期 4,608百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△241	771	△31	2,149
2025年3月期	△861	16	91	1,654

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	20	12.2	0.4
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		23.7	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	0.8	250	—	250	—	175	2.8	8.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 ー (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社カーチスロジテック

(注) 詳細は、添付資料P. 14「4. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	24,106,009株	2025年3月期	24,106,009株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	3,377,213株	2025年3月期	3,376,583株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	20,729,121株	2025年3月期	20,729,734株
----------	-------------	----------	-------------

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	426	△0.2	△63	—	△16	—	262	—
2025年3月期	427	△1.8	△39	—	△34	—	△33	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	12.65	—
2025年3月期	△1.60	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	5,247	4,343	82.8	209.54
2025年3月期	4,905	4,081	83.2	196.89

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,343百万円 2025年3月期 4,081百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(5) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 新規事業新設にかかる金融投資事業部における業績への寄与に関する件 .....	3
(3) 当期の財政状態の概況 .....	3
(4) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(5) 今後の見通し .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報の注記) .....	16
(重要な後発事象の注記) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日）におけるわが国の経済は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響や金融資本市場の変動、米国の通商政策をめぐる動向などに注意が必要な状況です。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、一部に足跡が残るものの、全体としては緩やかに改善しております。ただし、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等が個人消費に及ぼす影響や、米国の通商政策などの動向が、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数（軽自動車含む）は、約378万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比2.2%減少となりました。中古車登録台数（軽自動車含む）は、約546万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比で0.4%の増加となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境の中で当社は、親会社である株式会社レダグループホールディングスのグループ会社として、更なる事業セグメントの無限化・多様化・スピード化による成長戦略を明確にすることを目的としております。そのため、投資事業、金融事業、不動産事業、M&Aコンサルタント事業を積極的に推進しております。

当社は、将来の飛躍的な成長に向けた基盤構築として、以下の2つの戦略的プロジェクトの準備を強力に推進しております。

第一に、グローバル・フィンテック戦略の具体化として、2025年12月19日付で、当社は、米国NASDAQ上場の金融大手Freedom Holding Corp.（以下「FRHC社」）との間で、日本国内における銀行業参入及びFinTech事業展開のための合弁事業に向けた準備会社の設立に向けた基本合意（MOU）を締結し、2026年1月30日付で準備会社を設立いたしました。また、2026年3月31日付で、FRHC社との合弁契約を締結しており、2026年4月30日付で株式総数引受契約を締結いたしました。

今後、同社の持つ強固な資本基盤とグローバルな金融ネットワークを当社の事業に融合させ、新たな収益モデルの確立を目指してまいります。

第二に、成長領域であるAIインフラ市場への参入と物流機能の最大活用として、当社は、米国NASDAQ上場企業であるSuperX AI Technology Limited（以下「SuperX社」）のグループ企業との間で、2026年2月12日付で「販売エージェント業務」及び「物流業務」に関する業務提携契約を締結し、「認定物流パートナー」に指定されました。これにより、同社製AIサーバー等の日本国内販売におけるエージェント業務を担うとともに、三重県津市の供給センターから出荷される製品の物流業務を当社グループが受託いたします。成長著しいAIインフラ需要を確実に取り込むとともに、既存の物流アセットの稼働率向上と収益拡大を図ってまいります。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### 【自動車流通事業】

「自動車流通事業」において株式会社アガスタ、株式会社タカトク、新興自動車株式会社がいずれも営業利益での黒字を確保いたしております。

株式会社カーチスにおきましては、在庫車両構成の一新と在庫回転率の向上による粗利率の向上を最優先課題として構造改革に取り組んでおり、組織・運営体制の抜本的な見直しと在庫戦略の刷新により収益性は劇的に改善しております。

この結果、自動車流通事業全体における当連結会計年度の営業損失は前年同期比で116百万円縮小し、収益化に向けて確実な成果が表れております。

今後も「顧客ファースト」のスローガンを経営の中核に据え、お客様視点に立った「買取直販」を積極的に推進してまいります。さらに、多様化するお客様のニーズに対応するため、保証やメンテナンスパッケージなどの付帯サービスを充実させることによる収益基盤の向上を図るとともに、車検や保険など納車後のアフターサービスを通じて、「生涯顧客」としてのお客様との継続的な取引を強化していきます。また、カーチス倶楽部会員を対象としたサービスの拡充にも努め、取引頻度の向上による活性化を図ってまいります。

新規出店につきましては、販売センターを中心とした候補地の情報収集を積極的に進めております。しかしながら、不動産相場や建設費の高騰を考慮し、慎重な判断を行っております。既存店舗のスクラップアンドビルドやM&A等も選択肢として検討し、グループ全体の収益力向上を目指します。

海外関連では、株式会社アガスタにおいて、アジア・オセアニア・アフリカ諸国との輸出取引が順調に推移しております。ウガンダに開設したオフィスやパキスタンのコールセンターと連携し、周辺諸国への事業展開を進めております。また、株式会社カーチスキャピタルマネジメントにおいては、海外での自動車の販売、製造ならびに現地における市場開発のための企画及びコンサルティング業を行うことを目的として活動しており、さらに国内においてもギフト及び生活関連用品の販売・輸出入事業を開始し、新たな取引先の開拓による販路の拡大を進めております。

上記の結果、自動車流通事業の売上高は19,715百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント損失は112百万円（前年同期はセグメント損失228百万円）となりました。

【リースバック関連事業】

「リースバック関連事業」においては、株式会社カーチスロジテックは、リース及びリースバック事業を主軸に、商用車の買取・販売、運送会社のM&Aアドバイザー、金融業を手掛ける総合物流商社を目指しております。金融機関や大手物流業者との連携、及び「カーチス倶楽部」を通じた運送事業者への認知度向上を図り、運送会社の資金繰り支援や物流事業の安定化を担う「物流管理プラットフォーム」の構築を通じて、物流業界の発展に寄与する方針です。

一方で、グループ全体の事業ポートフォリオ最適化を図る観点から、株式会社カーチスロジテックの事業運営を当社からラインロジスティクス株式会社へ委譲し、当社は強みである金融・投資の知見を活かした専門的な支援に特化します。これにより、次世代の成長戦略の柱である金融関連事業へ経営リソースを集中投下してまいります。

上記の結果、リースバック関連事業の売上高は131百万円（前年同期比22.5%減）、セグメント損失は5百万円（前年同期はセグメント利益28百万円）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、新興自動車株式会社の買収による増加があるものの、各科目の見直しや業務改善による効率的な経費削減を継続的に実施しております。同時に売上拡大に向けた人員採用や、知名度向上及び来店促進のための広告費投入といった戦略的投資を積極的に行っております。

当連結会計年度の経営成績は売上高19,846百万円（前年同期比0.9%減）、営業損失117百万円（前年同期は営業損失199百万円）、経常損失は97百万円（前年同期は経常損失143百万円）となりましたが、一連の構造改革の結果、当第4四半期連結会計期間（2026年1月～3月）における営業利益は72百万円と大幅な黒字転換を果たしております。

さらに、親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、仙台不動産の売却に伴う固定資産売却益244百万円や投資有価証券売却益を計上した結果、170百万円の黒字（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失187百万円）を達成いたしました。

当社は、この収益基盤の回復を背景に、2026年4月には上場維持基準（スタンダード市場）への適合を果たし、東京証券取引所における監理銘柄（確認中）の指定解除を実現しております。

(2) 新規事業新設にかかる金融投資事業部における業績への寄与に関する件

当社は、金融投資事業部の第一号案件として、2024年7月31日に取得した株式会社OSMICホールディングス株式（取得価額：2百万円）を、2025年7月15日付で40百万円にて譲渡いたしました。

本件取引は、株式取得後1年未満（約11.5ヶ月）という短期間において、投資元本に対し20倍（投資収益率1,900%）の譲渡価額を達成し、当連結会計年度における営業外収益として37百万円を計上しております。

また、当社が25年に渡り保有しておりました非上場会社株式（取得価額：14百万円）を、同社との協議により2025年9月26日付で48百万円にて同社株主に譲渡いたしました。

本件取引は、当連結会計年度における特別利益として42百万円を計上しております。

当社といたしましては、引き続き、意欲的な投資事業を推進していく所存です。

今後も、外部パートナーとの連携を深化させ、機動的かつ高収益な投資活動を展開してまいります。

(3) 当期の財政状態の概況

(資 産)

当連結会計年度末の資産合計は、7,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加495百万円、土地の減少460百万円等によるものであります。

(負 債)

当連結会計年度末の負債合計は、2,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。

主な要因は、買掛金の減少338百万円、契約負債の増加102百万円及び流動負債その他の増加88百万円等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、5,044百万円となり、前連結会計年度に比べ186百万円増加いたしました。

主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加170百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、67.1%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

(4) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ495百万円増加し、2,149百万円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は241百万円（前連結会計年度は使用した資金が861百万円）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益223百万円、減価償却費112百万円、固定資産売却益244百万円、仕入債務の減少額338百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は771百万円（前連結会計年度は獲得した資金が16百万円）となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入712百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は31百万円（前連結会計年度は獲得した資金が91百万円）となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出28百万円等によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

項目	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	69.2	70.2	66.3	65.2	67.1
時価ベースの自己資本比率(%)	72.6	68.5	62.4	51.1	60.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	△667.1	△128.9	411.1	△252.4	30.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(5) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ及び中東情勢の長期化や円安・原油高の継続など、外部環境の不透明感は依然として払拭されておりません。また、当社グループが事業基盤を置く自動車業界におきましても、少子化の進行や若年層における自動車離れ、所有形態の多様化、物価高騰に伴う消費者の節約志向の高まりなど、先行きの不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、お客様を『生涯顧客』と位置づけ、継続的かつ強固な関係構築に向けた取り組みを一層推進いたします。あわせて、適正かつ適切な業務運営を徹底し、お客様の信頼に誠実に応えてまいります。

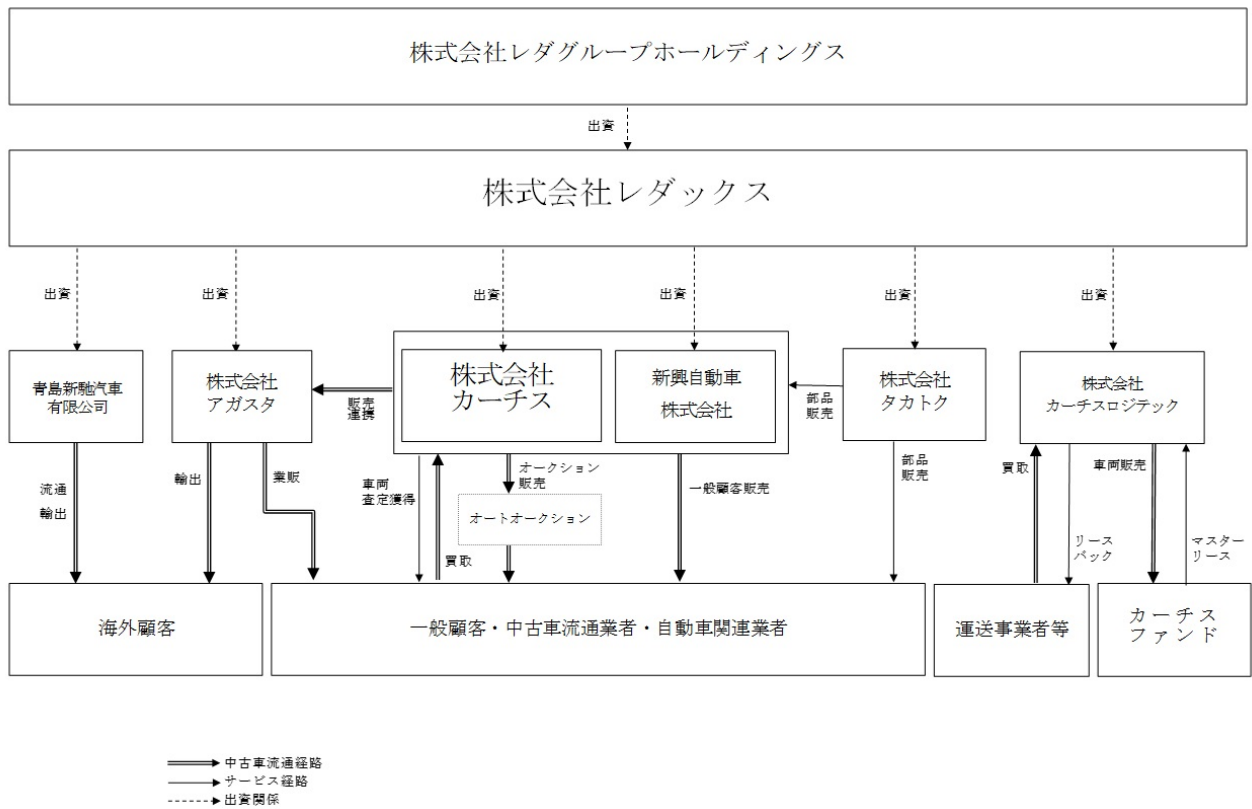
また、経営戦略におきましては、金融・投資・M&A・不動産事業を新たな収益の柱と位置づけ、その積極的な推進によりグループ全体の収益向上を確実に実現してまいります。

さらには、当期に実行したカーチスロジテックの連結除外や販売費及び一般管理費の抜本的削減によるコスト構造が通期で寄与することに加え、米国FRHC社やSuperX社との事業提携が本格稼働することから、収益性は飛躍的に向上するものと見込んでおります。

以上により、次期連結会計年度の見通しにつきましては、売上高20,000百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益250百万円（前年同期は営業損失117百万円）、経常利益250百万円（前年同期は経常損失97百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益175百万円（前年同期比2.8%増）となる見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 企業集団の状況



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,654,001	2,149,258
売掛金	1,157,287	1,233,352
有価証券	2,200	—
商品	2,109,561	1,841,829
貯蔵品	1,040	1,167
その他	508,424	710,549
貸倒引当金	△541	△5,854
流動資産合計	5,431,973	5,930,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,177,274	1,222,482
減価償却累計額	△911,628	△946,062
建物及び構築物 (純額)	265,646	276,420
土地	698,996	238,500
リース資産	139,000	155,230
減価償却累計額	△92,209	△117,673
リース資産 (純額)	46,791	37,557
建設仮勘定	390	390
その他	206,585	202,321
減価償却累計額	△158,318	△159,674
その他 (純額)	48,267	42,647
有形固定資産合計	1,060,091	595,515
無形固定資産		
ソフトウェア	159,289	113,042
ソフトウェア仮勘定	12,080	23,670
その他	1,600	2,091
無形固定資産合計	172,971	138,804
投資その他の資産		
投資有価証券	62,908	97,425
差入敷金保証金	330,139	348,821
破産更生債権等	16,511	16,391
その他	24,493	24,675
貸倒引当金	△26,486	△26,366
投資その他の資産合計	407,567	460,947
固定資産合計	1,640,630	1,195,267
資産合計	7,072,604	7,125,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	646,192	307,969
短期借入金	500,000	500,000
未払金	176,991	140,097
未払法人税等	36,162	37,571
契約負債	268,932	371,737
その他	235,277	324,127
流動負債合計	1,863,554	1,681,503
固定負債		
長期借入金	134,968	131,275
預り保証金	5,517	9,474
リース債務	23,561	19,580
繰延税金負債	33,270	34,777
資産除去債務	153,697	204,307
固定負債合計	351,015	399,415
負債合計	2,214,570	2,080,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,820,732	2,820,732
資本剰余金	851,334	851,334
利益剰余金	2,000,152	2,170,365
自己株式	△1,076,602	△1,076,696
株主資本合計	4,595,616	4,765,735
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,915	15,348
その他の包括利益累計額合計	12,915	15,348
非支配株主持分	249,501	263,568
純資産合計	4,858,033	5,044,652
負債純資産合計	7,072,604	7,125,571

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	20,034,349	19,846,885
売上原価	17,131,759	16,848,015
売上総利益	2,902,589	2,998,870
販売費及び一般管理費	3,102,498	3,116,443
営業損失(△)	△199,908	△117,572
営業外収益		
受取利息	3,947	5,615
受取配当金	1,843	845
有価証券売却益	—	37,800
受取保証料	2,163	1,519
為替差益	3,763	6,911
受取保険金	—	358
雑収入	56,654	37,623
営業外収益合計	68,371	90,672
営業外費用		
支払利息	3,411	7,910
支払保証料	1,957	2,237
持分法による投資損失	910	21,004
雑損失	5,958	39,465
営業外費用合計	12,238	70,618
経常損失(△)	△143,775	△97,518
特別利益		
固定資産売却益	14,350	244,659
投資有価証券売却益	—	42,221
国庫補助金	14,159	—
負ののれん発生益	3,331	—
持分変動利益	—	37,980
特別利益合計	31,841	324,860
特別損失		
固定資産除却損	95	—
固定資産圧縮損	12,180	—
減損損失	291	3,826
特別損失合計	12,567	3,826
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△124,501	223,515
法人税、住民税及び事業税	37,694	39,201
法人税等調整額	△4,171	35
法人税等合計	33,523	39,236
当期純利益又は当期純損失(△)	△158,024	184,279
非支配株主に帰属する当期純利益	△29,378	14,066
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△187,403	170,213

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△158,024	184,279
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,855	2,433
その他の包括利益合計	2,855	2,433
包括利益	△155,169	186,712
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△184,547	172,646
非支配株主に係る包括利益	29,378	14,066

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,820,732	851,334	2,208,285	△1,076,495	4,803,856
当期変動額					
剰余金の配当			△20,730		△20,730
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△187,403		△187,403
自己株式の取得				△106	△106
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△208,133	△106	△208,240
当期末残高	2,820,732	851,334	2,000,152	△1,076,602	4,595,616

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,059	10,059	220,123	5,034,039
当期変動額				
剰余金の配当				△20,730
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)				△187,403
自己株式の取得				△106
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,855	2,855	29,378	32,234
当期変動額合計	2,855	2,855	29,378	△176,005
当期末残高	12,915	12,915	249,501	4,858,033

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,820,732	851,334	2,000,152	△1,076,602	4,595,616
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			170,213		170,213
自己株式の取得				△94	△94
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	170,213	△94	170,118
当期末残高	2,820,732	851,334	2,170,365	△1,076,696	4,765,735

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,915	12,915	249,501	4,858,033
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				170,213
自己株式の取得				△94
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,433	2,433	14,066	16,499
当期変動額合計	2,433	2,433	14,066	186,618
当期末残高	15,348	15,348	263,568	5,044,652

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△124,501	223,515
減価償却費	119,600	112,752
減損損失	291	3,826
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,361	5,192
受取利息及び受取配当金	△5,790	△6,460
支払利息	3,411	7,910
為替差損益(△は益)	△85,959	△24,128
有価証券売却損益(△は益)	—	△37,800
固定資産売却損益(△は益)	△14,350	△244,659
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△42,221
国庫補助金	△14,159	—
負ののれん発生益	△3,331	—
持分変動損益(△は益)	—	△37,980
固定資産圧縮損	12,180	—
売上債権の増減額(△は増加)	112,708	△84,648
棚卸資産の増減額(△は増加)	△452,254	△30,496
未収入金の増減額(△は増加)	△62,366	△28,953
未収消費税等の増減額(△は増加)	△19,912	69,205
前渡金の増減額(△は増加)	91,303	△61,853
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△14,976	120
仕入債務の増減額(△は減少)	282,058	△338,223
未払金の増減額(△は減少)	△34,019	△3,588
未払費用の増減額(△は減少)	△21,342	△9,529
契約負債の増減額(△は減少)	△538,490	114,908
預り金の増減額(△は減少)	3,518	38,477
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,374	57,935
その他	△19,699	106,291
小計	△826,094	△210,406
利息及び配当金の受取額	5,790	6,460
利息の支払額	△3,411	△7,910
法人税等の支払額	△37,525	△29,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	△861,242	△241,418
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	40,000
有形固定資産の取得による支出	△11,888	△7,031
有形固定資産の売却による収入	55,180	712,517
無形固定資産の取得による支出	△18,120	△9,500
資産除去債務の履行による支出	△1,106	—
敷金及び保証金の差入による支出	△22,355	△36,181
敷金及び保証金の回収による収入	17,185	—
投資有価証券の売却による収入	—	61,153
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	30,000
出資金の払込による支出	△4,681	—
出資金の回収による収入	—	170
国庫補助金の受取額	14,159	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,593	△20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,779	771,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	149,998	—
長期借入金の返済による支出	—	△3,692
リース債務の返済による支出	△38,290	△28,010
自己株式の取得による支出	△106	△94
配当金の支払額	△20,521	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>91,079</b>	<b>△31,813</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	85,959	24,128
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△667,424</b>	<b>522,024</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,321,426	1,654,001
<b>連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額</b>	<b>—</b>	<b>△26,767</b>
現金及び現金同等物の期末残高	1,654,001	2,149,258

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当連結会計年度において、連結子会社であった株式会社カーチスロジテックは、同社が実施した第三者割当増資により、当社の持分比率が50.0%に減少したため、連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、事業種類別のセグメントから構成されており、「自動車流通事業」及び「リースバック関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「自動車流通事業」は、中古車、自動車部品等の販売及び付帯サービスの提供を行っております。

「リースバック関連事業」は、特別目的会社を活用したリースバック事業に係る車両売却を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,864,951	169,397	20,034,349
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	19,864,951	169,397	20,034,349
セグメント利益又は損失(△)	△228,354	28,445	△199,908
その他の項目			
減損損失	291	—	291

(注) セグメント資産については、事業セグメント資産を配分していないため、記載しておりません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,715,677	131,208	19,846,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	19,715,677	131,208	19,846,885
セグメント損失 (△)	△112,375	△5,197	△117,572
その他の項目			
減損損失	3,826	—	3,826

(注) セグメント資産については、事業セグメント資産を配分していないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	オセアニア	アフリカ	その他	合計
16,194,577	3,306,778	236,037	240,542	56,413	20,034,349

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	オセアニア	アフリカ	その他	合計
15,945,693	2,745,213	184,858	575,355	395,763	19,846,885

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に保有している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	222.32円	230.65円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△9.04円	8.21円

(注) 1 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△187,403	170,213
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△187,403	170,213
普通株式の期中平均株式数 (株)	20,729,734	20,729,121

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。